

Solid State Logic
SOUND || VISION



Super-Analogue™ Outboard
Owner's Manual

82S6XR010B

X-Rack Owner's Manual

Solid State Logic

SOUND || VISION

Begbroke, Oxford, England, OX5 1RU • +44 (0)1865 842300

320 West 46th Street, 2nd Floor, New York, NY 10036, USA • +1 (1) 212 315 1111

Suite 401, 5757 Wilshire Blvd, Los Angeles, CA 90036, USA • +1 (1) 323 549 9090

3-55-14 Sendagaya, Shibuya-Ku, Tokyo 151-0051, Japan • +81 (0)3 5474 1144

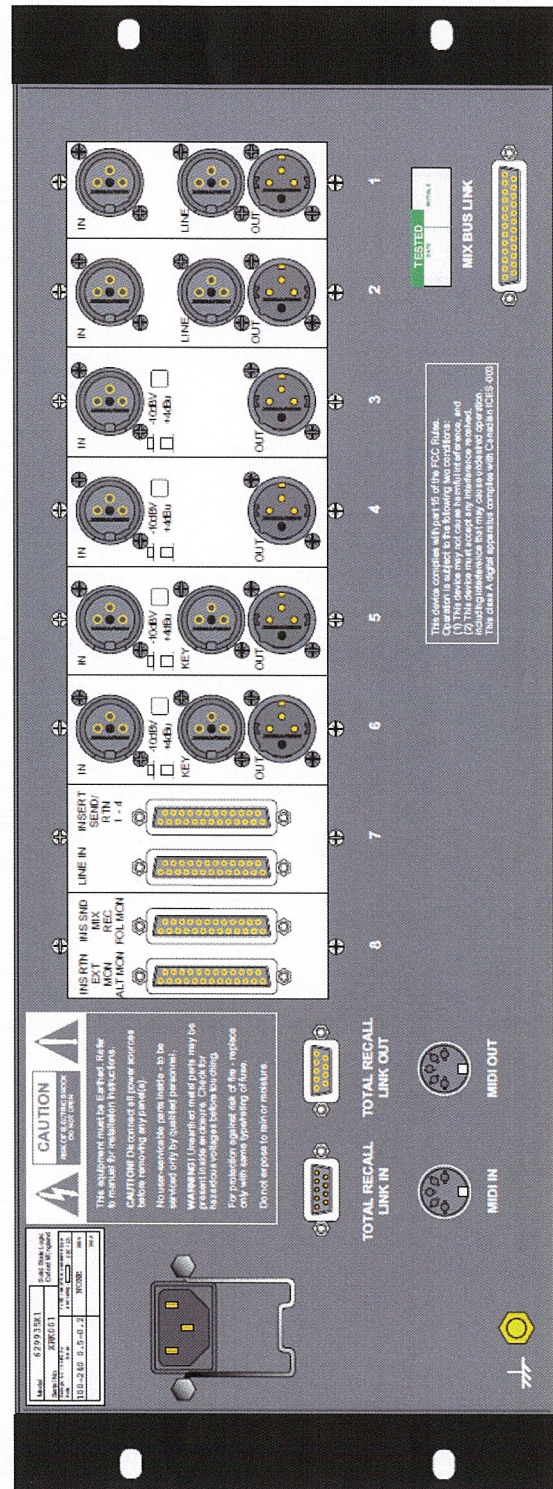
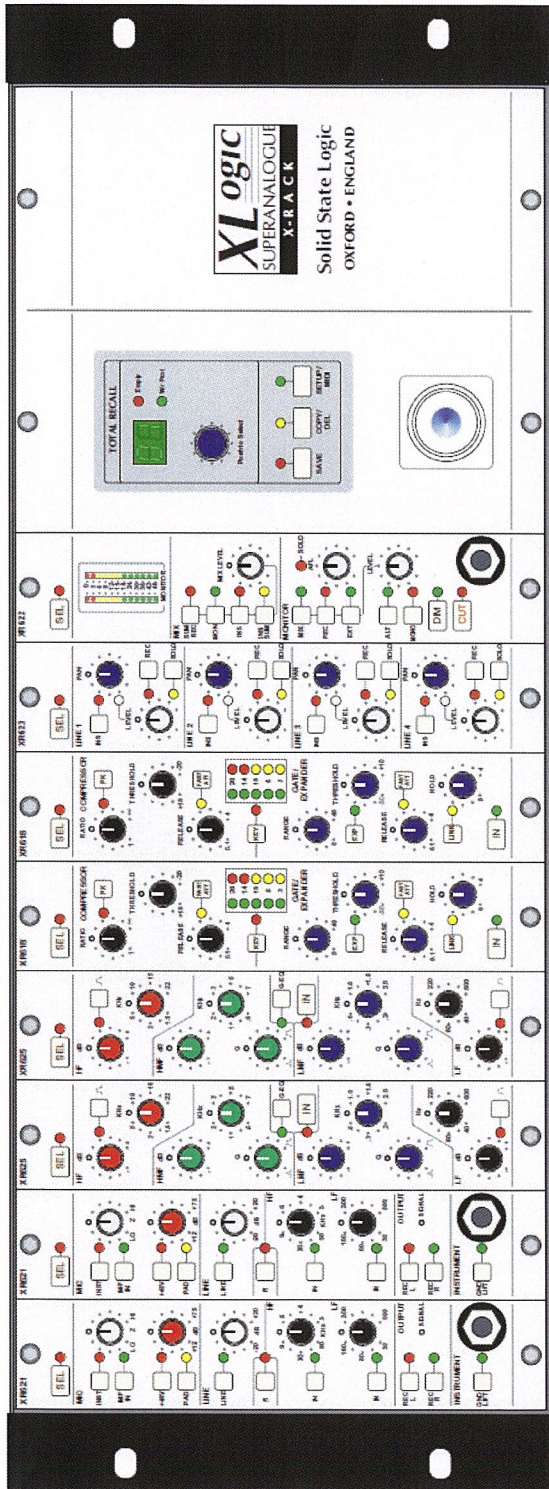
7 bis, rue de la Victoire, le Blanc Mesnil, Paris 93150, France • +33 (0)1 48 67 84 85

Via Timavo 34, 20124 Milano, Italy • +39 (0)39 2328 094

Visit SSL at URL: <http://www.solid-state-logic.co.jp>

目次

- 1 まえがき
2. 安全にご使用いただくために
3. Xラックの設置について
4. Xラックの使用方法 トータルリコール
5. その他の使用方法



1. イントロダクション

Overview

ソリッドステートロジック (SSL) の X-Rack システムは SSL が長年大型コンソールで培った技術を全て惜しみなくアウトボードシステムに使用し、コンパクトなラックシステムにまとめ上げた製品です。

保証規定

本製品の保証期間は、ご購入日より12ヶ月です。

但し、弊社師弟の技術者以外の手による修理、改造が行われた場合にはその時点で保証期間は終了します。

保証期間内の修理について

保証期間中における故障については、ご購入された各ディーラーを介してソリッドステートロジック ジャパン株式会社 (SSLJ 社) までご返送ください。

尚、返送の際にはご購入時の SSLJ 社 オリジナルのボックスに梱包してご返送ください。仮に他の梱包にてご返送いただいた場合、輸送中のいかなる損害に対しても SSLJ 社は責任を負いかねます。もしお持ちでない場合、SSLJ 社では本製品の輸送に適切な梱包用のボックスを有償にてご提供いたします。尚、ご返送の際にはマニュアルや電源ケーブル、その他ケーブル類は返送せずにお手元にお持ちください。また、本製品の製造番号を提示いただければ、お手続きを円滑に進めることができます。

保証期間外の修理について

保証期間後における故障についても上記と同様に、オリジナルのボックスに梱包しご購入された各ディーラーを介して SSLJ 社 までご返送ください。仮に他の梱包にてご返送いただいた場合、輸送中のいかなる損害に対しても SSLJ 社は責任を負いかねます。この場合には修理にかかるパーツの費用および修理完了までに費やされた時間の費用を合算してご請求いたします。

ソリッドステートロジックジャパン株式会社
〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷3-55-14
URL : www.solid-state-logic.co.jp

安全にご使用いただくために

この度は Solid State Logic XLogic XRack システムをお買い上げいただきありがとうございます。

この項目は安全な使用環境を保障するための定義、注意、実用的な情報を含んでいます。

このユニットを用意、使用する前にこの項目をよくお読みくださるようお願い致します。

そしてまた、本書を処分しないようお願い致します。

安全上のご注意

- ・このマニュアルをお読みください
- ・このマニュアルを保管してください
- ・すべての注意事項に留意してください
- ・すべての説明書きに従ってください
- ・水のある場所でのご使用は控えてください
- ・雨が降ったり、湿気のある場所に設置しないでください
- ・掃除する場合は乾いた布をご使用ください
- ・風通しのある場所を塞がず、説明書にしたがって設置してください。
- ・ラジエーター、ヒーター、ストーブ、アンプなどの熱を発生する装置の近くに設置しないでください。
- ・この機器を不安定な台車、スタンド、テーブルなどの上に置かないようにしてください。
- ・この機器の中にユーザーが調整をしたり、ユーザーが修理する道具はありません。
またカバーを開けないでください、保証が無効となるおそれがあります。
- ・電源が損傷した場合、液体が機器の中に入った場合、雨や湿気にさらされた場合、通常の動作をしなかったり、機器を落とした場合にはサービスをご用命ください。サービスは資格のある者のみに限られます。また弊社認証の資格のない者の
- ・機器の調整や変更は動作に影響をあたえる可能性があります。
- ・やむを得ず長時間大音量でご使用される際は、耳への負担を和らげるため耳栓などの自衛手段を講じてください。

電源の安全上の注意

- ・この機器は全世界の電源供給に対応しており、ユーザーが取り替えるフューズはありません。
- ・このユニットには電源コードはついています。代替のコードは 2.5A もしくはそれより上のもので、3ピン IEC コネクターと合うものをご使用ください。
- ・もし延長ケーブル、アダプターをご使用する場合は電源ケーブル、アダプターの合計容量が超えないことを確かめてください。

- ・ 電源ソケットをご使用する場合は機器の近くまたは容易に近づける場所に設置してください。
- ・ 雷雨の時、また長くご使用しない時は、機器から電源プラグを抜いておいてください。
- ・ 電源ケーブルは手荒に扱わないでください。定期的に断線していないか、またはその兆候がないかチェックしてください。

取り付け

- ・ 機器を取り付ける際は安全な場所で取り付けてください。
- ・ 機器と接続するケーブルは長さに余裕のあることを確認し、人の移動のない場所であることを確認してください。
- ・ 電源ケーブルの上には何も置かないようにしてください、また通路にコードが架からないように設置してください。
- ・ 機器がなんらかのものにかぶさっている、または入っている状態でのご使用はおさげください。
- ・ カバーの開いている状態でのご使用はおさげください、機器の動作に影響をおよぼすおそれがあります。

Xラックの設置

エンプティールラック

ラック

次のことは必ずお守り下さい。

モジュールのラックへの抜き挿しは必ず電源を切ってから行って下さい。

電源スイッチを切り電源ケーブルをコンセントから抜いて下さい。

モジュールやブランクパネルの角は鋭利に仕上がっているところがあります。手などを切らないようにご注意ください。

モジュールはラックの正面から挿入します。コネクターのピンを曲げないようにご注意ください。

3.2

ラックマウント

Xラックはラックにマウントするか、そのままでもお使いになれます。

ラックマウントはIEC19 インチサイズ 4U サイズです。(178mm)で奥行きは180mm (255mm コネクタ込み)です。

ラックマウント時には、上部に1Uのブランクを挿入して放熱にご配慮下さい。

ラック本体はラックマウントするための耳と自立のためのゴム足と双方を装着して出荷されます。不必要な物を取り去ってお使い下さい。ゴム足、ラック耳とも M4 の 8mm ネジで取り付けられています。ラックマウントする際には 2.5mm の六角レンチでゴム足を取り外して下さい。もし自立でご使用時には同じレンチでラック用耳を取り外せます。

ご注意、外したゴム足やラック耳を再度取り付ける際には必ず M4 の 8mm ネジをご使用下さい。これより長いネジを使用すると内部でショート等を引き起こし電氣的ダメージに繋がる事がありますので絶対に使用しないで下さい。

3.3 接続

3.3.1 電源の接続

X ラックの電源 は電源電圧を自動で検知し合わせますので、(100V から 230VAC)

設定の必要はありません。 コネクションケーブルは IEC 規格のソケットがリアパネルに装備されていますので付属の電源ケーブルをご使用になり接続して下さい。電源スイッチはフロントパネルに丸いスイッチがあります。スイッチを押してブルーの LED が点灯すれば電源オンです。

3.3.2 オーディオの接続

基本的には各モジュールに入出力が装備されています。

入力コネクターは XLR♀(2 番ホット) 出力コネクターは XLR♂(2 番ホット)です。

モジュールによって入出力数が多い物は D サブコネクターが装備されています。

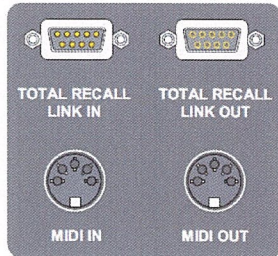
(これらの D サブコネクターのピン配列は入出力も含めて各モジュールのピン配列表をご参照下さい。)

又キーインプット等は TRS ジャックになっていますし、マイクプリアンプの楽器用入力には TS ジャックになっています。詳細は個々のモジュールの説明のページをご参照下さい。

モジュールによっては基準入出力レベルを +4 dBu から -10dBu に切り替えることが可能です。

詳細については各モジュールの説明をご参照下さい。

3.3.3 AWS 900 との接続



X ラックシステムと SSL の AWS900 もしくは AWS900+ と同時に使用する際には 9 ピンの D サブコネクタを接続することによりトータルリコールのデータを D サブ経由で AWS900(+) のデータと同時にセーブが可能です。ケーブルは付属の 2m のものをお使い下さい。また最大長は 15m です。ピン配列に間違いのないケーブルをご使用下さい。

Total Recall Link IN

Total Recall Link OUT

3.3.4 MIDI 接続

MIDI ポートには幾つかの機能があります。

- 1 内部に蓄積された 32 のトータルリコールデータをシステムエクスクルーシブデータとして保存
- 2 XR662 マスターモジュールのソフトファンクションをリモートコントロール
- 3 システムソフトウェアのアップデート

この機能を使用する際には本機の MIDI IN に外部機器の MIDI OUT を 本機の MIDIOUT を機器の MIDI IN にそれぞれ接続して下さい。

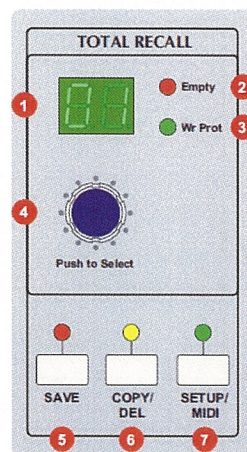
複数台の XRack が有る場合にはそれぞれ別々に接続して下さい。(デジチェーンではお使いになれません)

3.3.5 ミックスバスリンク

2 台の X ラックを接続(結合)し大きなステレオミキサーを構成させる時に使用します。25 ピンの D サブコネクタでミックス(REC)バスや AFL バスなどを接続します。コネクタのピン配列のページをご参照下さい。

4 オペレーション 使用方法

4.1 トータルリコール



トータルリコールコンピューターはXラックモジュール上にあるスイッチやボリュームツマミの位置を記憶するシステムです。Xラックでは32通りのパターンを記憶します。この記憶され、呼び出されたセッティングと現状と異なる場合にはLEDの点灯により表示します。消灯する方向にツマミやスイッチを動かしモジュール上の全LEDが消灯すれば前回のセッティングと寸分の違いもありません。

このトータルリコールのデータはMIDIエクスクルーシブデータとして保存されます。

更にXラックのデータはAWS 900 と AWS 900+.のトータルリコールデータの一部としてAWSシステムのデータに取り込むことが可能です。

注) 詳細はAWS900 (AWS 900+.) のマニュアルを参照下さい。

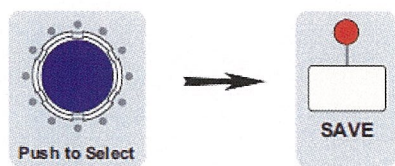
4.2 スタンドアローンモード

4.2.1 内部メモリーに保存する

最大32通りのセッティングを内部の不揮発性メモリーに記憶が可能です。書き込み防止機能はありませんので上書きされますからご注意下さい。書き込み可能かは、'Wr Prot'のLED③が点灯しますので確認が可能です。

初めにD-POT④を回して保存したい番号を選択します。次にSAVE⑤ボタンを押します。

もしその番号に既に保存されたデータがあるときにはLEDが点滅して警告をします。上書で構わない場合はもう一度SAVEボタンを押して下さい。保存は完了です。



4.2.2 リコールとデーターの表示

ストアモードには D-Pot⁴を押して入ります。

現在呼び出されている数字番号が①に表示されます。

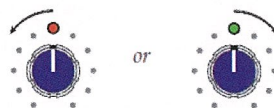
その番号に対応するデータがない場合には“ENPTY”のLEDが表示されます。

番号にデータが存在し マッチしている場合はXRACKモジュール上のSELのLEDが点灯します。

この場合ラック内モジュールはデータが保存された時と同じ形式 (EQ やダイナミクス) が同じ位置にセッティングされている必要があります。

もしSELのLEDが点滅している場合はつまみやスイッチの前回の位置とマッチさせる為にコントロールが必要です。

コントロールの方法はスイッチはLEDが点灯していると元のデータと合っていない。切り替えて消えるようにして下さい。つまみはつまみの上にあるLEDが緑に点灯している時は時計方向に、赤に点灯している時は反時計方向に廻して下さい。LEDが消えた所が元のポジションです。



赤いLEDが点灯している場合は反時計方向に廻して下さい。

緑のLEDが点灯している場合は時計方向に廻して下さい。

4.2.3 ディスプレーモードから戻るには

Dポットをも一度押すとディスプレイモードから通常モードに戻ります。

全てのSEL LEDが消えチャンネルのスイッチ用LEDはそれぞれの機能の表示に戻ります。

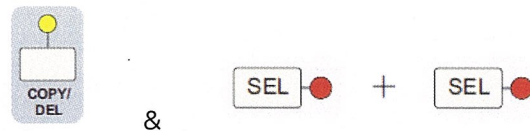
9頁

4.2.4 コピーとスワップ

トータルリコールディスプレイモードに有る時SELボタンを押しながら、もう一台のSELボタンを押すと、その2つの間でトータルリコールセッティングデータが入れ替わります。

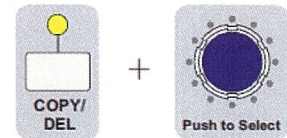


COPY/DELを選択し上記と同じ動作をさせると初めのチャンネルから後に押したチャンネルにデータがコピーされます。



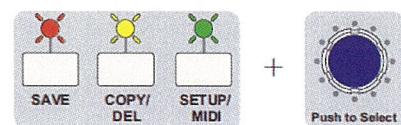
注) このコピーとスワップは同じ形式のモジュール間で行えます。EQはEQ同士、ダイナミクスはダイナミクス同士で行えます。EQのデータをダイナミクスにコピーしてもなんの意味を持ちません！

4.2.5 データの消去 (Deleting Stores)



必要のないデータを消去するにはCOPY/DELを押し続けながらD-POT のスイッチを押して下さい。
更に他にも必要のないデータがある場合にはCOPY/DELを押し続けながらDPOTで要らないデータの番号を選択しもう一度D-POT のスイッチを押して下さい。

4.2.6 全消去 (Delete All)



全のデータ消去をしたい場合には上の三つのスイッチを押すとLEDが点滅します、更にDPOTのスイッチを押すとデータは全て消去されます。

5.3 技術規格

奥行	: 180mm / 7.インチ (ツマミ、コネクタ含まず)
	: 255mm / 10.2 インチ(ツマミ・コネクタ等含む)
高さ	: 178mm / 7 inches (4 RU) <i>excluding feet</i>
幅	: 440mm / 17.4 inches (ラックマウント無し)
	: 483mm / 19 inches (ラックマウント耳あり)
重量	: 2.8kg / 6.2 pounds (モジュール無し)
	: 3.5kg / 7.7 pounds (ブランクパネル含む)
	: 5.0kg / 11 pounds (モジュール含む)
消費電力	: 50 Watts / 60VA (8モジュール含む)
外装ボックス大きさ	: 540mm x 300mm x 270mm / 21.25" x 12" x 10.63"
同重量	: 4.3kg / 9.5 pounds (モジュール含まず)
	: 5.0kg / 11 pounds (ブランクパネル含む)
	: 6.5kg / 14.3 pounds (8モジュール含む)

* 数値は大まかな物です。

5.4 使用環境

使用時温度	: 5 to 30 °C
輸送時温度	: -20 to 50 °C
最大温度変化	: 15 °C毎時
使用時湿度	: 20 to 80 %
輸送時湿度	: 5 to 90 %

Max. wet bulb: 29 Deg. C (non-condensing)

使用時振動:	< 0.2 G (3 - 100Hz)
輸送時振動:	< 0.4 G (3 - 100Hz)
使用時衝撃:	< 2 G (10mSec. Max.)
輸送時衝撃	< 10 G (10mSec. Max.)
使用高度	0 to 3000m (above sea level)
輸送高度:	0 to 12000m

D-Sub 25ピン 配列表

X Rack

4 Line Input Module

8 Input Summing Module

Master Bus Module

X-Rack 4-Channel Input Module 用

INSERT SEND/RTN 1-4

コネクタ種類	25-pin Dタイプ Male	XLRキャン ピン
pin		
1	Insert Return 4(-)	3
14	Insert Return 4(+)	2 Female 4
2	0V	1
15	Insert Return 3(-)	3
3	Insert Return 3(+)	2 Female 3
16	0V	1
4	Insert Return 2(-)	3
17	Insert Return 2(+)	2 Female 2
5	0V	1
18	Insert Return 1(-)	3
6	Insert Return 1(+)	2 Female 1
19	0V	1
7	Insert <u>Send</u> 4(-)	3
20	Insert <u>Send</u> 4(+)	2 Male 4
8	0V	1
21	Insert <u>Send</u> 3(-)	3
9	Insert <u>Send</u> 3(+)	2 Male 3
22	0V	1
10	Insert <u>Send</u> 2(-)	3
23	Insert <u>Send</u> 2(+)	2 Male 2
11	0V	1
24	Insert <u>Send</u> 1(-)	3
12	Insert <u>Send</u> 1(+)	2 Male 1
25	0V	1
13	no connect	

LINE IN

コネクタ種類	25-pin Dタイプ Male	XLRキャン ピン
pin		
1	Insert Return 4(-)	3
14	Insert Return 4(+)	2 Female 8
2	0V	1
15	Insert Return 3(-)	3
3	Insert Return 3(+)	2 Female 7
16	0V	1
4	Insert Return 2(-)	3
17	Insert Return 2(+)	2 Female 6
5	0V	1
18	Insert Return 1(-)	3
6	Insert Return 1(+)	2 Female 5
19	0V	1
7	Line Input 4(-)	3
20	Line Input 4(+)	2 Female 4
8	0V	1
21	Line Input 3(-)	3
9	Line Input 3(+)	2 Female 3
22	0V	1
10	Line Input 2(-)	3
23	Line Input 2(+)	2 Female 2
11	0V	1
24	Line Input 1(-)	3
12	Line Input 1(+)	2 Female 1
25	0V	1
13	no connect	

※タスカム配列ではないので注意！！

X-Rack 8 input Module 用

INSERT SEND/RTN 1-4

コネクタ種類	25-pin Dタイプ Male	XLRキャン ピン
pin		
1	Insert Return 4(-)	3
14	Insert Return 4(+)	2 Female 4
2	0V	1
15	Insert Return 3(-)	3
3	Insert Return 3(+)	2 Female 3
16	0V	1
4	Insert Return 2(-)	3
17	Insert Return 2(+)	2 Female 2
5	0V	1
18	Insert Return 1(-)	3
6	Insert Return 1(+)	2 Female 1
19	0V	1
7	Insert <u>Send</u> 4(-)	3
20	Insert <u>Send</u> 4(+)	2 Male 4
8	0V	1
21	Insert <u>Send</u> 3(-)	3
9	Insert <u>Send</u> 3(+)	2 Male 3
22	0V	1
10	Insert <u>Send</u> 2(-)	3
23	Insert <u>Send</u> 2(+)	2 Male 2
11	0V	1
24	Insert <u>Send</u> 1(-)	3
12	Insert <u>Send</u> 1(+)	2 Male 1
25	0V	1
13	no connect	

LINE IN 1-8

コネクタ種類	25-pin Dタイプ Male	XLRキャン ピン
pin		
1	Line Input 8(-)	3
14	Line Input 8(+)	2 Female 8
2	0V	1
15	Line Input 7(-)	3
3	Line Input 7(+)	2 Female 7
16	0V	1
4	Line Input 6(-)	3
17	Line Input 6(+)	2 Female 6
5	0V	1
18	Line Input 5(-)	3
6	Line Input 5(+)	2 Female 5
19	0V	1
7	Line Input 4(-)	3
20	Line Input 4(+)	2 Female 4
8	0V	1
21	Line Input 3(-)	3
9	Line Input 3(+)	2 Female 3
22	0V	1
10	Line Input 2(-)	3
23	Line Input 2(+)	2 Female 2
11	0V	1
24	Line Input 1(-)	3
12	Line Input 1(+)	2 Female 1
25	0V	1
13	no connect	

※タスカム配列ではないので注意！！

X-Rack Master Bus Module 用

INS RTN, EXT, MON, ALT MON

コネクタ種類	25-pin Dタイプ Male	XLRキャンノンピン
pin		
1	Alt Monitor <u>Out</u> Right (+)	2
14	Alt Monitor <u>Out</u> Right (-)	3 Male 4
2	0V	1
15	Alt Monitor <u>Out</u> Left (+)	2
3	Alt Monitor <u>Out</u> Left (-)	3 Male 3
16	0V	1
4	Main Monitor <u>Out</u> Right (+)	2
17	Main Monitor <u>Out</u> Right (-)	3 Male 2
5	0V	1
18	Main Monitor <u>Out</u> Left (+)	2
6	Main Monitor <u>Out</u> Left (-)	3 Male 1
19	0V	1
7	External Input <u>Right</u> (+)	2
20	External Input <u>Right</u> (-)	3 Female 4
8	0V	1
21	External Input <u>Left</u> (+)	2
9	External Input <u>Left</u> (-)	3 Female 3
22	0V	1
10	Mix Insert Return <u>Right</u> (+)	2
23	Mix Insert Return <u>Right</u> (-)	3 Female 2
11	0V	1
24	Mix Insert Return <u>Left</u> (+)	2
12	Mix Insert Return <u>Left</u> (-)	3 Female 1
25	0V	1
13	no connect	

INS SND, MIX, REC, FOL MON

コネクタ種類	25-pin Dタイプ Male	XLRキャンノンピン
pin		
1	Follow Monitor <u>Out</u> Right (+)	2
14	Follow Monitor <u>Out</u> Right (-)	3 Male 8
2	0V	1
15	Follow Monitor <u>Out</u> Left (+)	2
3	Follow Monitor <u>Out</u> Left (-)	3 Male 7
16	0V	1
4	Record Bus <u>Out</u> Right (+)	2
17	Record Bus <u>Out</u> Right (-)	3 Male 6
5	0V	1
18	Record Bus <u>Out</u> Left (+)	2
6	Record Bus <u>Out</u> Left (-)	3 Male 5
19	0V	1
7	Mix Bus <u>Out</u> Right (+)	2
20	Mix Bus <u>Out</u> Right (-)	3 Male 4
8	0V	1
21	Mix Bus <u>Out</u> Left (+)	2
9	Mix Bus <u>Out</u> Left (-)	3 Male 3
22	0V	1
10	Mix Insert <u>Send</u> Right (+)	2
23	Mix Insert <u>Send</u> Right (-)	3 Male 2
11	0V	1
24	Mix Insert <u>Send</u> Left (+)	2
12	Mix Insert <u>Send</u> Left (-)	3 Male 1
25	0V	1
13	no connect	